

平成25年度(財)日本スキー連盟日本スキー指導者協会 総 会

会 長 挨拶

平成25年度(財)全日本スキー連盟日本スキー指導者協会総会に、ご多用の中多くの皆様にご出席をいただき総会を開催することができ、誠にありがとうございます。また日頃からスキースポーツの普及振興にあたたかいご理解とご活躍をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

現在日本を取り巻く環境は、円高ユーロ安という厳しい経済情勢が進展していますが、このような状況にあっても「日本をスポーツで元気に!」という日本体育協会のキャッチフレーズをもとに活動することは大変意義あることと思います。

日本指導者協会のこれからの方向性については、今後の組織体制の充実を図っていかねばなりません。理事会や総会の役割をしっかりと進めるには、事務局が各ブロックや都道府県の指導委員会のおかれている状況を把握し、今後の協会のあるべき姿を模索する必要があります。

そのためにも、シーズン終了後には役員の皆様からの忌憚のないご意見を伺い、改めるべきはしっかりと改めることが肝要と考えています。新たなるシーズンを迎え、皆様の変わらぬご指導・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



2012年7月21日
会長 坂本 祐之輔

日本スキー指導者協会 懇親会 写真



**(財)全日本スキー連盟日本スキー指導者協会
平成24年度 第2回 理事会 議事録**

日時 平成24年5月26日(土) 11:00~14:00

場所 スクワール麹町

〒102-0083 東京都千代田区麹町6-6 電話03-3234-8739

出席者 (名簿順敬称略)

会長 坂本 祐之輔

副会長 坂井和夫 半沢 進 渡辺 忍 山崎一正

理事 藤島勝雄 吉田勇夫 阿部隆郎 石塚光男 新井臣一
水島秀夫 藤木 昇

特別理事 増田千春

委任 鈴木勘重 古賀澄夫 小笠原健一 佐藤昭藏 和田守義

顧問弁護士 菅原哲朗

事務局 藤木 昇 高橋イキエ 水島三千夫 関根紀光
井駒利一

進行 水島理事長

開会に先立ち故綱川千夫先生に黙祷をささげた。

(栃木県スキー連盟会長・S I J 副会長平成23年11月18日没)

1. 開会の辞 山崎副会長

2. 会長挨拶 坂本祐之輔

顧問弁護士、特別理事、出席理事にたいして第2回理事会が開催できたことへの謝辞。

故綱川千夫先生とは会議・スキー場でもお会いしており、心より哀悼の辞を述べたい。

今年度の全行事が皆さまのご努力により順調に行われたこと、ご協力・ご参加いただいた皆さまへのお礼を申し上げる。

スポーツの世界では、ロンドンオリンピックにマスメディアも熱い視線を送って行くと思う。オリンピックの開催によりあらゆる競技力の向上が図れると思う。東京オリンピックの招致には、国民の支持率を高めなければならない。S I Jも国民世論を盛り上げるための応援をしていただければと願っている。

S A Jでは、定款が変更され懸案になっていた事項も収まった。ただ、本年は、S A J総会の日程がS I Jの総会と重なってしまったため出席できなくなり申し訳ない。

3. 議長 坂本祐之輔

4. 書記選出 事務局

5. 議事録署名人 吉田勇夫 藤島勝雄

6. 議事運営確認 水島理事長

藤島理事：理事会の出席者に名誉役員が入っていないことについて確認。

水島理事長：会場と経費の関係から名誉会長、特別顧問、顧問、参与、会友には理事会への出席要請はしていない、総会への出席をお願いした。

7. 平成24年度概況報告 水島理事長

資料により報告説明：少子化の進行が総務省の発表により改めて浮き彫りになった。S I Jの役割を改めて全員で考えていく事がとても大切な時期に差し掛かった。本会の基礎となる会員の増強については進展しなかった。事業面では、各事業とも盛会裡に開催でき協賛及び参加いただいた各位にお礼。

1) 一般報告(事業別概況)

資料により報告説明：藤木事務局長

2) S A J報告

資料により報告説明：増田特別理事

(1) スキー指導者の資格再登録について

資格再登録については、データベース整備として進めているもので、研修会制度をはじめ資格制度や指導者の立ち位置に関して検討を進めている。

(2) 平成25年度(2012/2013シーズン)教育本部事業カレンダー案

受検者減少のため指導員検定の日程について会場別に検討中。

(3) 検定会、事業申込者数&合格者数

3) 会議、事業、本部会計収支報告

資料により報告説明：藤木事務局長

渡辺副会長：平成24年度 収支決算報告 過去未収分の金額について、脱退届出3県については計上する必要は無いのではないかと。

水島理事長：未収県については更に検討する、脱退3県については除く方向で。

藤島理事：議論を先延ばしにしている。この件については時間を十分かける必要がある。

渡辺副会長：過去の未収を請求したらどこも再加入しないだろう。

藤木事務局長：会費については、本年度のみの請求としている。

坂本会長：本年度は、未収について計上しない方向で確認。

(昼食・休憩)

菅原顧問弁護士は所用のため退席されるので、ここでご挨拶をいただいた。

菅原顧問弁護士

スポーツ基本法が平成23年8月24日に施行され、スポーツのもつ権利性が謳われた。そこで色々なことが生じてきていることを幾つか挙げて話された。

・スポーツ事故に関すること。

・スポーツ顧客をいかに創造し育成するかについて。

・スポーツがもつ力について。

・アンチドーピングについて。

8 審議事項

1) 事業計画案及び収支予算案：藤木事務局長

スキー大学の日程：H25 / 1月上旬をH24/12/21~24に変更

S I Jカップを未払い県で開催するのはどうか、との思いもある。

坂本会長：財政的に厳しいときには、広報誌の費用見直しなどが一般的に行われる。また、S I Jカップの開催地。これらについてご意見をいただきたい。

水島理事長：北海道での開催は可能か。

藤島理事：北海道としては、4月でも雪の心配は無い、いつでも受入できる。

水島理事長：北海道の場合、会場としては何処。

藤島理事：ルスツが良いのでは。レースの設備や観光にも適している。

水島理事長：大会費用が些少だが受けるところはあるのか。

藤島理事：大会費用についても、早くに具体的なものをだしていただければ検討できる。

半沢副会長：東北は辞退したい。

以上、一括審議の結果、平成24年度事業報告及び収支決算報告、平成25年度事業計画と収支予算について原案通り承認された。

2) 総会について：水島理事長

第1回理事会、総会、懇親会の日程と時間について説明

日程 平成24年7月21日(土) 場所 スクワール麹町

理事会 10:30~11:30

総会 11:40~12:30

懇親会 12:40~14:30

坂本会長、菅原顧問弁護士は欠席になるが、会場予約の関係もあり上記にて開催を決定。

3) その他：特になし

9. 提案事項

特に提案なし、ここで一旦案件は終了とした。

引き続き、意見交換を時間の許す範囲で行った。

藤島理事：決算、予算の明細と総括など様式が分かりにくい、改善を望む。

藤島理事：北海道は全日本ということで加入している、西日本が脱退すると、東日本のみになってしまい全日本でなくなる。
坂本会長：決算、予算の書式は変更することで、先に了承を得ている。

藤島理事：未収県に対する働きかけは？

水島理事長：西日本には三年程前まで、働きかけをしていたが脱退は既に決まったことだからと言われていた。

渡辺副会長：ご参考の年会費収受状況から年数、金額を削除し受領県のみ「済」を表示して、脱退県は下方にまとめてはどうか。

坂本会長：未収分は予算より減額する。

渡辺副会長：総会には新しい様式で提案願いたい。

藤木事務局長：請求の文案は？請求先に指導員会の実態がない。どのようにしたらよいか。

坂本会長：文案は、督促よりお誘いのような内容が好ましい事務局で成案願いたい。

増田特別理事：西日本ブロック研修に出席した時、指導員会の会長が挨拶していたので、指導員会の存在を感じた。実態を調べてみては？接触している相手が違うこともあるのでは。

坂本会長：アンケートをとってはどうか。

水島理事長：以前にアンケートをとったことがあるので再度参考にしてみる。

増田特別理事：S A J が新法人化にともない環境が変わってきている、S I J も少し（2年程）様子を見ながら進めてはどうか。

坂本会長：日指の全国状況は分かる範囲で調べ、報告していただきたい。

以上で意見交換を終えた。

10. 書記解任

11. 議長解任

12. 閉会の辞 半沢副会長

以上の議事録を証するため下記に署名する

平成24年 6月 6日

議長 坂本 祐之輔 印
議事録署名人 吉田 勇 印
議事録署名人 藤島 勝雄 印

**(財)全日本スキー連盟日本スキー指導者協会
平成25年度 第1回 理事会 議事録**

日時 平成25年7月21日(土) 10:00~11:00

場所 スクワール麹町

〒102-0083 東京都千代田区麹町6-6 電話03-3234-8739

出席者 (名簿順敬称略)

会長 坂本 祐之輔

副会長 坂井 和夫 半沢 進 渡辺 忍 山崎一正

特別理事 増田千春

理事 藤島勝雄 吉田勇夫 鈴木勲重 阿部隆郎 石塚光男

福田 真人

新井臣一 和田守義 水島秀夫

委任 古賀澄夫 佐藤昭蔵

監事 榎本建司 巻坂伸治

名誉会長 菅 秀文

顧問 林 権一 大澤佑吉

参与 長澤光雄 浦辻 直

傍聴：三浦光雄 庄司高士 芳賀 寛 榎本勝雄

事務局 藤木 昇 高橋イキエ 水島三千夫 関根紀光 滝沢

誠 井駒利一

進行 水島理事長

1. 開会の辞 山崎副会長

2. 会長挨拶 坂本祐之輔

役員の方々は、菅名誉会長はじめ名誉役員の方々には、ご多用のところお越し頂き誠にありがとうございます。謝辞と慎重審議と円滑な議事運営へお願い。

3. 議長 坂本祐之輔

4. 書記選出 事務局

5. 議事録署名人 石塚光男 藤島勝雄

6. 議事運営確認 水島理事長

7. 平成24年度概況報告 水島理事長

資料により報告説明：加えて福岡顧問から欠席連絡の折、戦前・戦中派が今、頑張らなければならない、スキー界も同じと熱く語られた。私も同感した。

1) 一般報告(事業別概況)

資料により報告説明：藤木事務局長

2) S A J 報告

資料により報告説明：増田特別理事

(1) 会員登録加入状況

(2) 平成25年度(2012/2013シーズン)教育本部事業カレンダー案

今分かっている変動可能性のある行事として指導員検定は例年通り5会場であるが、受検者数によっては会場を絞ることもある。技術選とジャンプの日程が重なっているので、一週ずれることがあり得る。

(3) スキー指導者の資格再登録について

S A J 会員登録をしていない資格停止者の解除申請について把握を各県連に委ねていた関係から当初は受付していたが、資格停止の解除には、S A J 会員登録が前提となるので、会員登録をしていない人は、まず会員登録をして翌年解除申請をしていただくことで現在は対応している。ご理解をお願いしたい。

菅名誉会長

功労指導員や名誉指導員等も含まれるか？

増田特別理事

含まれる。

3) 会議、事業、本部会計収支報告

資料により報告説明：藤木事務局長

特に質疑なし。

4) 監査報告 榎本建司監事

特に指摘事項なし。

以上の報告事項について一括審議の結果、原案通り承認された菅名誉会長より3点のご意見をいただいた。

第2回理事会の議事録で名誉役員に出席要請をしなかった理由に、会場・経費都合を挙げているが、名誉役員の理事会出席については、規約第29条3項で「会長は、必要に応じ名誉役員に出席を要請し意見を求めることができる」としているため規約とおり進めれば良い。

S I J カップの開催地については、北海道を隔年で行ってはどうか。また、キロロを進めているようだが北海道とよく相談して欲しい。

西日本指導員会について、増田特別理事によると指導員会が存在しているようなので、新たな接触相手についてその実態を調べてみてはどうか。

8. 審議事項

1) 平成25年度 会議、事業計画案：資料により説明

藤木事務局長

2) 平成25年度 本会計予算案：資料により説明

藤木事務局長

3) 平成25年度 会議、事業予算案：資料により説明

藤木事務局長

4) その他

(1) 会報インストラクター28号発刊について

水島事務次長

発行日は10月1日(月)、原稿締切は9月10日、28号は各県だよりやインフォメーションを中心にして誌面をスリムにして経費を抑えたい。

(質疑)

鈴木理事

東北内部に報告するため。平成25年5月下旬の、第2回理事会の開催時期を早められないか。

水島理事長

5月19日(日)に繰り上げ、会場を手配する。

半沢副会長

会場を東京以外に移動しても良いのではないか。

藤島理事

親睦を深める意味でも北海道ではどうか。

大澤顧問

事業計画と会場については、発想に柔軟性をもって運営してもらいたい。

林顧問

理事会の会場を移すのは良い。

水島理事長

理事会の開催会場については、事務局で検討する。

藤島理事

S I Jカップの開催地としてルスツを推したが、事業計画案ではキロ口になっている。幹事長がキロ口には、ルートがないとのことなので、私が紹介できると話しておいたが、相談がなかった。北海道としては対応に苦慮している。

水島理事長

この件については、拡大事務局会議を開催して案を企画したが、北海道に協力をいただかないとこの事業は成り立たないので相談させていただきたい。

坂本議長より、縷々意見が出ているので、事務局と大会の開催地である北海道と調整して進めて貰いたいとの意向を示し、坂井副会長から、その方向で進めるとのご理解を得た。

なお、総会には、原案のキロ口で提案することで了承。

以上、一括審議の結果、原案通り承認された。

9. その他

1) 30周年記念事業について : 水島理事長

年表を示し、開催に対して討議した。

林顧問

準備期間を考えると今年度の開催は難しい、30周年記念事業を行うのは良いが一年延びても良いのではないかと。

藤島理事

北海道、指導者制度60周年の内容をヒントとして紹介

渡辺副会長

記念誌の発行、式典になるが、式典は雪上の実施も考えられないかと。

坂本議長

いままでのご意見を参考に、30周年記念事業については事務局にて企画・立案する。

議長より、全般を通してご意見ご提案を確認

藤島理事

以下の指摘があった。

配布された役員名簿について、氏名誤字、電話番号誤記、選出推薦母体の表記に整合性がない。

総会資料に添付の事務局日誌は不要、この分を利用して役員名簿を載せられないか。

ホームページの更新が遅れている

本日の理事会に代表委員の傍聴があったが、冒頭に紹介がなかった。

坂本議長

藤島理事のご意見、ご提案については、事務局にて対応をとること。

10. 書記解任

11. 議長解任

12. 閉会の辞 渡辺副会長

以上の議事録を証するため下記に署名する

平成24年 8月21日
議 長 坂本祐之輔 印
議事録署名人 石塚 光男 印
議事録署名人 藤島 勝雄 印

(財)全日本スキー連盟日本スキー指導者協会

平成25年度 総会 議事録

日時 平成24年7月21日(土) 12:15~12:45

場所 スクワール麹町

〒102-0083 東京都千代田区麹町6-6 電話03-3234-8739

出席者 (名簿順敬称略)

代表委員 三浦光男 庄司高士 芳賀 寛 榎本勝雄

委任 金井 久 小林 賢 宮津 久男

会 長 坂本 祐之輔

副会長 坂井 和夫 半沢 進 渡辺 忍 山崎一正

特別理事 増田千春

理 事 藤島勝雄 吉田勇夫 鈴木勘重 阿部隆郎 石塚光男

福田 真人 新井臣一 和田守義 水島秀夫

委任 古賀澄夫 佐藤昭藏

監 事 榎本建司 巻坂伸治

名誉会長 菅 秀文

顧 問 林 権一 大澤佑吉

参 与 長澤光雄 浦辻 直

事務局 藤木 昇 高橋イキエ 水島三千夫 関根紀光 滝沢 誠
井駒利一

進行 水島理事長

1. 開会の辞 水島理事長

2. 会長挨拶 後述

3. 議長 坂本祐之輔

4. 書記選出 事務局

5. 議事録署名人 三浦光男 庄司高士

6. 議事運営確認 水島理事長

7. 平成24年度概況報告 水島理事長

資料により報告説明

1) 一般報告(事業別概況)

資料により報告説明: 藤木事務局長

2) SAJ報告 増田特別理事

顧客創造について、SAJ・スキー場・地域等が一体となってこの4年間取り組んできた。重力や遠心力をうまく活用し、健康に良い、体をこわさない、高いパフォーマンスを生むことを教程の基盤にしてきた。このようなハイブリッドスキーイングと従来型のスキーとの比較データや、疲れにくい、自律神経と副交感神経のバランスが良いといった医学的な考察を加え再構築して一歩進めた指導法として提案をしていく動きがある。今までスキーをしたことのない新たな顧客を対象に、体にいい、股関節を痛めない、高いパフォーマンスが得られるなど、指導法も進化し変わり目にもきている。馴染めない先生方からも多くのご意見をいただいていること、ターンの入口・出口論、ロッカー系スキーの登場等々に触れながらSAJの最近の動向について報告。

3) 会議、事業、本部会計収支報告

資料により報告説明: 藤木事務局長

特に質疑なし。

4) 監査報告 榎本建司監事

特に指摘事項なし。

以上の報告事項について一括審議の結果原案通り承認された。

8 審議事項

1) 平成25年度会議事業計画案: 資料により説明 藤木事務局長

2) 平成25年度本会計予算案: 資料により説明 藤木事務局長

3) 平成25年度会議事業予算案: 資料により説明 藤木事務局長

以上、一括審議の結果、原案通り承認された。

9. その他

渡辺副会長

今回、代表委員が7名と少ないのは、規約では、各都道府県から選出されることになっているのに選出されない府県があるため、規約上の問題ではない、将来的には各県から代表委員が選出され増えることが望ましい。

藤島理事

S I Jカップに参加の北海道の選手は、当初からレース中心であり、ツアーを兼ねて参加している方々とは主旨がことなっているの

で懇親会への参加も少ない。

総会のまとめを兼ねて、坂本会長よりご挨拶をいただいた。

10. 書記解任

11. 議長解任

12. 閉会の辞 渡辺副会長

以上の議事録を証するため下記に署名する

平成24年 8月21日
議 長 坂本祐之輔 印

議事録署名人 三浦 光男 印

議事録署名人 庄司 高士 印